



MiZ 株式会社は現代医学では克服できない慢性炎症を原因とする疾患を克服する 2 原子分子を発見したことについての総説を公開

- パーキンソン病も、COVID-19、すい臓がん、人工透析 -

2021年9月30日/Kyodo JBN/

1. はじめに

MiZ 株式会社は2021年8月30日に水素産生菌の見過ごされてきた恩恵についてのカリフォルニア大学バークレー校と慶應義塾大学の共著論文を投稿し受理されました。また、疾病発症前の慢性炎症を抑制する物質についての論文も2021年7月4日に発表しています。健康長寿の実現には、万病の原因である慢性炎症を鎮める必要がある。慢性炎症が長引いている状態を東洋医学では「未病」と呼びますが、現代医学では未病を治癒する手段がありません。今般、MiZ 株式会社はこの慢性炎症を抑制する方法を見出し、この度総説を発表しました。このプレスリリースでは、本総説を含め、MiZ 株式会社の研究に関する論文を紹介します。

2. スーパー善玉菌

近年、腸内細菌と疾病の関係に関する研究が着目されているが、そのメカニズムは不明な点が多い。この問題についても、腸内の水素産生菌が産生する水素が全身に拡散し、身体の慢性炎症を予防していることに着目すれば、明確に説明することが可能となる。

たとえば、日本の百寿者では呼気中の水素濃度が高いことから、水素産生菌発生する水素が長寿に寄与していると考えられる。また、パーキンソン病患者や認知症の患者では水素産生菌であるバクテロイデスの割合が少ないため、水素による脳の保護が脆弱であると考えられる。キャリコが研究対象としているハダカデパネズミの腸内細菌は水素産生菌が優勢なので水素がハダカデパネズミの長寿に寄与している可能性がある。

[関連論文]

・「水素産生菌の見過ごされてきた恩恵 –スーパー善玉菌–」 *Medical Gas Research, in press.*

3. 慢性炎症と未病の克服

未病とは、体の中でゆっくりと病気が進行しているにもかかわらず、症状が現れない健康状態のことである。現代の医療において未病の代表的な例としては、慢性的な炎症によって引き起こされる炎症性疾患が挙げられる。多くの病気に慢性炎症が関与しているため、「慢性炎症は万病の根源」であると言っても過言ではない。現代医療は、急性炎症疾患をコントロールすることはできても、慢性炎症疾患をコントロールすることはできない。

水素分子 (H_2) には、ミトコンドリアの活性酸素種であるヒドロキシルラジカル ($\cdot OH$) を除去することで、慢性炎症を治療する効果があることが示されている。現代医学では発

見も治療もできない「未病」だが、 H_2 は未病の病態を抑制することができるため、新たな防御剤として期待できる。

[関連論文]

・「慢性炎症性疾患における水素の治療効果の可能性 : ミトコンドリアストレスを抑制する可能性」 *International Journal of Molecular Science*, 2021, 22, 2549. (URL : <https://www.mdpi.com/1422-0067/22/5/2549>)

・「発症前の病気に対する新しい保護剤としての水素分子」 *International Journal of Molecular Science*, 2021, 22, 7211 (URL : <https://www.mdpi.com/1422-0067/22/13/7211>)

4. 現代医学の限界を超える

現代医学は、ひとつの疾病に対してひとつの医薬品や治療方法を開発することに躍起になっている。我々はこのような「要素還元主義」に基づく現代医学は限界に来ていることを声を大にして主張したい。

現代医学が治すことができないパーキンソン病、ガン、認知症を含む精神疾患の原因は、ミトコンドリア内部で発生するヒドロキシルラジカルに起因するものと考えてよい。

M i Z 株式会社（佐藤文武代表取締役）は、あらゆる難治疾患の原因物質であるヒドロキシルラジカル ($\cdot OH$) をその発生源であるミトコンドリア内部で水分子に変換してしまう分子を見出した。それは「水素分子 (H_2)」である。

[関連論文]

「哲学的分子」水素は老化や難病を克服する」 *Medical Gas Research* 2020, vol 10, (1) Page 47-49 (URL : <https://www.medgasres.com/text.asp?2020/10/1/47/279983>)

5. 水素の安全性 –水素ガス吸入機の爆発事故–

水素は医薬品のような副作用は一切ないが、唯一注意を払うべきことは、水素の爆発性である。爆発性を有する物質を病院や家庭で用いることは危険が伴うが、MiZ 株式会社は水素の爆発は 10%以下であれば起こらないことを見出した。市場には爆発濃度の水素ガス吸入機が出回っているけれども、そのような爆発の危険性を有する水素ガス吸入機は市場から排除すべきである。

[関連論文]

・「水素ガス吸入機の爆発防止」 *Medical Gas Research*, 9 (3):160-162, 2019. (URL : <https://www.medgasres.com/text.asp?2019/9/3/160/266996>)

ヒンデンブルグ号 YUTUBE 映像

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=aUPGRegumsM&t=1s>

6. 脳医学への可能性

パーキンソン病の原因もミトコンドリアで発生しているヒドロキシルラジカルである。特にパーキンソン病の病巣である中脳黒質は脳の中心部に存在するからなおやっかいである。脳には血液脳関門が存在するため脳の中心部に薬剤を送達することは困難であり、また幹細胞を移植することには侵襲が伴うからである。これらの問題のすべてを水素分子は解決する。中脳黒質では神経伝達物質であるドパミンが産生されているが、パーキンソン病の患者の中脳黒質にはヒドロキシルラジカルを触媒する鉄イオンが蓄積し、フェントン反応で生成したヒドロキシルラジカルがドパミンを破壊している。水素分子は優れた拡散性を有することから速やかに中脳黒質に到達し、そこで絶え間なく発生しているヒドロキシルラジカルを水分子に変換する。医薬品として役割をおえた医薬品の代謝産物は脳内から排出するための創薬設計を必要とするが、水素分子であればその必要はない。余剰の水素は拡散により自然に排出され、水素とヒドロキシルラジカルの代謝産物は水分子であるからである。マイケル・J・フォックス氏はパーキンソン病で苦しんでいるけれども、水素は彼らの助けになることであろう。

〔関連論文〕 仮タイトル「脳と水素」 執筆中

7. 会社紹介

MiZ 株式会社は、30 年前から神奈川県鎌倉市で「健康長寿」をテーマに、慢性炎症による病気を根本的に治療する方法の研究開発を行ってきた。2021 年 4 月には、シリコンバレーに新たな拠点として MiZ Inc. を設立しました。

MiZ 株式会社は、慢性炎症による病気を治す可能性のある分子として、水素分子に着目した。水素分子の化学構造は最も単純な二原子分子であるが、MiZ はこの単純さが現代医学の常識を打ち破る物質になることを発見しました。

そもそも太古の地球上の原始的な生命は、水素から生まれ、水素をエネルギー源として利用していた。水素分子は化学構造的には最も単純な二原子分子であるけれども、この単純さが現代医学の常識を覆す物質になり得ることを MiZ Corporation は発見しました。

以上